

世界とつながるSHIZUOKA推進委員会		理事委員長	栗田泰吉
(1)基本方針			
<p>現在世界では、通信、情報技術、移動手段の発達によって国際化が急激に進んでいます。静岡市に住む人々が国際化に対する意識を高めてまちに活かすことができる視点を獲得することは、この静岡市を飛躍させる絶好のチャンスです。青年会議所は、これまで団体が持つネットワークによって、会員と組織の能力を高めてまちを良くするための力に変えてきました。国際化の推進は対外的なつながりを更に広げて、会員と組織がまちを今以上に発展させるための力を提供します。静岡市を更に飛躍させるためには、私たち会員が静岡市を良くしようという意志を行動に変え、その意志を静岡市のまちの人々まで広げることが不可欠です。</p> <p>本年度当委員会では、出向者をサポートすることにより、静岡市の外の地域・世界とつながることで得た視点を組織やまちに活かして行動できる熱意ある会員を育成し、この熱意に溢れた組織の構築につなげます。同時にこのまちと会員が国際化という共通のゴールを理解して行動していくため、会員を牽引してこの共通のゴールをまちに広げます。</p> <p>まずは出向では会員に出向先の活動内容を周知させ、出向者に出向への参加を促します。お見送りやお出迎え、出向先への訪問等により出向者の活動を後押しします。出向で得た貴重な経験を全会員へ報告し、これを目に見えるかたちで会員へと還元して組織力を高めていきます。そして、LOMの垣根を越えて会員同士がつながり合える関係を構築していきます。また、各国リーダーが集う国際アカデミーの招致を目指し活動を拡大していきます。この活動を内外に発進することで、会員とまちに、まずは国際アカデミーを知っていただき、まちや組織をより良く変えられることを理解していただきます。その上で、国際アカデミーを静岡で開催するための機運を高めていきます。</p> <p>出向の成果によって、会員と組織は地域・世界とのつながりを存分に活用することができます。出向の経験を活かすことで、会員は自身のみならず組織やまちをより良く変えることができます。国際アカデミーの招致活動を行った成果は、国際アカデミーの静岡開催へと歩みを進めます。それだけでなく、国際化社会のチャンスを活かすことができる組織、まちへと変えることができます。そして、このまちの良さを次代に継承するため行動できる人財を増やし、「明日の笑顔が溢れるしずおか」の創造につながるものと確信します。</p>			
(2)年間スケジュール			
月	日程	事業内容	
1		国際アカデミー誘致に向けた事業	↑
2			
3			
4			
5			
6	2日(日)、8日(土)	第46回JC青年の船「とうかい号」出港式・帰港式	↓
7	4日(木)～12日(金)	第32回国際アカデミー(軽井沢)登録窓口	
8		出向者支援活動	
9			
10	24日(木)	10月度第一例会	
11		2020年度出向者募集	↑
12			
(3)事業内容			
1	10月度第一例会の企画・運営		
2	国際アカデミー誘致に向けた事業の企画・運営		
3	出向者支援活動		
4	出向先報告活動		
5	2020年度出向者募集		
6	第46回JC青年の船「とうかい号」内地支援活動		
7	第32回国際アカデミー(軽井沢)登録窓口		
8	SDGsの認知度向上に向けた運動の推進		
9	会員の拡大 5名		
10	第46回JC青年の船「とうかい号」一般乗船者募集 2名		
11	広報活動への協力		
12	各事業・地域事業への参加・協力		
13	公益社団法人 日本青年会議所への参加・協力		
14	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区協議会への参加・協力		
15	公益社団法人 日本青年会議所 東海地区 静岡ブロック協議会への参加・協力		